

市長の活動報告（令和8年3月）

3月1日（日曜日） 阿南市立椿泊小学校 閉校式

明治7年の創立以来、151年の歴史を刻んできた阿南市立椿泊小学校の閉校式に出席しました。

当日は、児童や地域住民、学校関係者など約180人が集い、長年親しまれてきた学び舎との別れを惜しましました。私からは、「阿波水軍の拠点であった松鶴城跡に建つ歴史ある学び舎が幕を下ろすことに深い感慨を覚えます。ここで育まれた友情や思い出、地域の皆様が受け継いできた絆や郷土愛は、これからも決して色あせることはありません」と椿泊小学校への思いを述べさせていただきました。

式典では校旗返納や在校生・卒業生によるお別れの言葉が披露され、児童の学校への深い愛着が伝わる心温まる時間となりました。また、思い出コンサートでは、参加者全員で童謡「ふるさと」を合唱し、会場は感謝と惜別の思いに包まれました。151年にわたり5,533人の卒業生を送り出した椿泊小学校の歴史と伝統を胸に、子どもたちが新たな環境で希望を持って成長できるよう取り組んでまいります。



3月8日（日曜日） 徳島南部自動車道 小松島南IC～阿南IC開通式典

阿南市民が長年待ち望んでいた徳島南部自動車道「小松島南IC～阿南IC」間（延長3.2キロ）が開通し、その記念式典に出席しました。式典には、金子恭之国土交通大臣、後藤田正純徳島県知事をはじめ、多くの来賓や関係者が出席され、本市にとって歴史的な節目をともに祝いました。私からは、「阿南IC開通という歴史的瞬間を迎えられたことは、この上ない喜びです。この道路は、産業や観光の振興を支える『活力の道』であるとともに、南海トラフ巨大地震などの大規模災害時には地域の『命綱』となる重要な社会基盤であることから、本日の開通は、阿南市の新たな時代の幕開け、県南地域の新たな成長への大きな一歩です」と述べました。

式典後には、阿南第一中学校吹奏楽部による演奏や「ささゆり連」の阿波踊りなどが披露され、テープカットを経て午後4時から一般車両の通行が始まりました。今回の開通により、慢性的な交通渋滞の緩和や所要時間の短縮、救急搬送の迅速化など、市民生活の利便性と安全性の向上が期待されています。

今後も国や県、関係機関と連携し、未開通区間の早期整備や阿南安芸自動車道の整備促進に全力で取り組み、地域のさらなる発展につなげてまいります。



3月20日（金曜日） 高野町・阿南市 歴史友好都市提携協定締結記念講演会

阿南市役所で開催した「高野町・阿南市歴史友好都市提携協定締結記念講演会」に出席し、ごあいさつを申し上げます。

本講演会は、本年1月に和歌山県高野町と締結した歴史友好都市提携協定に基づく交流事業の一環として開催したものです。

当日は、高野町教育委員会の木本誠二氏を講師にお迎えし、「世界遺産」をテーマに、高野町の取り組みや世界遺産登録を目指す四国遍路の現状についてご講演いただきました。また、徳島県文化財保存整備市町村協議会の研修会も兼ね、多くの文化財関係者にご参加いただきました。

今後も高野町との交流を深め、本市の豊かな歴史文化の魅力を広く発信するとともに、文化を生かした活力あるまちづくりを進めてまいります。



3月28日（土曜日） 阿南市観光地引網 開幕式

本市の春を彩る恒例行事「阿南市観光地引網」が今年も開幕し、北の脇海岸で開催された開幕式に出席しました。

開幕式では、観光地引網は阿南の豊かな海の魅力を体感できる自然体験型の催しであり、多くの方々に親しまれてきた本市を代表する観光資源であることをお伝えするとともに、特に子どもたちにとって、自然の恵みやふるさとの海の豊かさを学ぶ貴重な体験の場となることへの期待を述べました。

式典後には、津乃峰小学校の児童16人を含む約50人が全長100メートル余りの網を、力を合わせて砂浜までたぐり寄せ、タイやタコ、ナマコなど約10キロの魚介類が姿を見せると、会場は大きな歓声と笑顔に包まれました。子どもたちから「生きたタコを初めて見た」といった感想を聞くことができ、生きた魚介類と触れ合いながら、地域の自然や漁業への理解を深める大切さを改めて実感しました。

今後も、この伝統ある観光地引網を大切に継承し、阿南の海の魅力を広く発信するとともに、観光振興と地域の活性化につなげてまいります。

